

ドメイン名検索

 .JP

検索する

HELP

登録できる文字・形式の詳細はこちら

[JPRS HOME](#)

[What's New](#)

[TOPICS](#)

[登録希望の方へ](#)

[指定事業者の方へ](#)

[Q&A](#)

[JPRSについて](#)

[JPNICへのリンク](#)

- 汎用JPドメイン名全般について
- 日本語ドメイン名に関して
- 登録申請に関する質問
- 登録後の運用に関する質問
- 料金に関する質問
- 用語

Q&A

6. 用語(あいうえお順 + ABC順)

Q. 6-1

公開連絡窓口情報とは何ですか。

A. 6-1

ドメイン名運用に関するトラブル等があった場合などの連絡用としてインターネット上で公開される情報です。

外部からの連絡を受ける際に、確実にそのドメイン名の登録者に連絡が取れる方であれば、どなたでも公開連絡窓口とすることができますので、登録者本人の個人情報である必要はありません。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-2

指定事業者とは何ですか。

A. 6-2

ドメイン名登録者とJPRSの間に入ってドメイン情報の登録業務を行うところです。

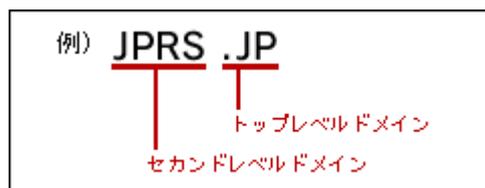
[このページのトップへ](#)

Q. 6-3

セカンドレベルドメインとは何ですか。

A. 6-3

ドメイン名は「.」(ピリオド)で区切られていますが、一番右側の「JP」の部分をトップレベルドメイン(TLD)と言います。



そして右から2番目の部分をセカンドレベルドメイン(SLD)と言います。汎用 JP ドメイン名ではこの部分に好きな文字列を登録します。

既存の属性型 JP ドメイン名では、セカンドレベルドメインは「CO」や「GO」、「AC」などが用意されており、企業、政府、大学といった組織属性を識別することができるようになっています。



[このページのトップへ](#)

Q. 6-4

属性型JPドメイン名(組織種別型JPドメイン名)とは何ですか。

A. 6-4

ドメイン名を登録している組織の種類(属性)を表すセカンドレベルドメインを持ったドメイン名のことです。

これには以下の種類があります:

Ex.

AC.JP: 大学系教育機関

CO.JP: 一般企業

GO.JP: 政府機関

OR.JP: 会社以外の団体

AD.JP: JPNIC会員

NE.JP: ネットワークサービス

GR.JP: 任意団体

ED.JP: 小・中・高校など主に18歳未満を対象とする各種学校

[このページのトップへ](#)

Q. 6-5

地域型JPドメイン名とは何ですか。

A. 6-5

都道府県名、政令指定都市名、市区町村名を利用したドメイン名のことです。組織・個人が登録できる「一般地域型ドメイン名」と、地方公共団体が登録できる「地方公共団体ドメイン名」があります。

Ex.

EXAMPLE.CHIYODA.TOKYO.JP:

東京都千代田区に在住する個人が登録できる一般地域型ドメイン名の形式

METRO.TOKYO.JP:

東京都が登録できる地方公共団体型ドメイン名

[このページのトップへ](#)

Q. 6-6

ドメイン名とは何ですか。

A. 6-6

通常、コンピュータは通信相手をIPアドレスによって識別していますが、これを、人間が認識しやすい、[jprs.jp]のように文字で表現した名前をドメイン名といいます。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-7

日本語ドメイン名とは何ですか。

A. 6-7

汎用JPドメイン名のうち、日本語の文字を含んだドメイン名のことです。日本語ドメイン名として使用できる文字は次の通りです。

全角ひらがな・全角カタカナ・漢字・半角英数字(A～Z, 0～9)・半角のハイフン「-」、これらの他に、「・」「\」「ゝ」「ゞ」「々」「ー」なども使用できます。また、登録できる文字数は、全角・半角に関係なく、1文字以上15文字以下です。

[「汎用JPドメイン名登録等に関する技術細則」](#)

[このページのトップへ](#)

Q. 6-8

ネームサーバ(DNSサーバ)とは何ですか。

A. 6-8

実際のドメイン名とIPアドレスを関連付けるサービスを行うサーバのことです。このサーバに問い合わせることで、ドメイン名に対応するコンピュータのIPアドレスを知ることができます。このサーバは全世界に階層的に分散配置されており、最上位の階層に位置するネームサーバをルートサーバと呼びます。JPNIC・JPRS は JPドメイン名を管理するネームサーバの運用管理をおこなっています。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-9

汎用JPドメイン名とは何ですか。

A. 6-9

従来から利用されているドメイン名には「 .CO.JP」や「 .OR.JP」といった、組織や種別を表す「第2レベルドメイン名」が必要でしたが、新しく誕生した「汎用JPドメイン名」は、「 .JP」の様に、短くて覚えやすいドメイン名です。また、既存ドメイン名の登録には、「1組織には1ドメイン名のみ」「個人でのドメイン名登録が困難」などの制約がありましたが、汎用JPドメイン名では制約を緩和し、自由度の高いドメイン名を登録することが出来るようになりました。

主な特徴

- ・「登録名.JP」の様に短いドメイン名です。
- ・1個人または1組織で複数のドメイン名を取得できます。
- ・ドメイン名に日本語を使うことができます。
- ・日本国内に在住する個人、または、拠点を置く組織であれば誰でも登録ができます。



従来の「CO.JP」などのドメイン名については[JPNICのホームページ](#)をご覧ください。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-10

プロバイダとは何ですか。

A. 6-10

電話回線やデータ通信専用回線などを通じて、コンピュータをインターネットに接続する業務を行っているところです。

Q. 6-11

メールアドレスとは何ですか。

A. 6-11

インターネット上で相手に電子メールを送るための「住所」のことです。「info@jprs.jp」のように表記し「@」記号の前が個人を識別するユーザ名、「@」記号の後ろがドメイン名になります。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-12

予約ドメイン名とは何ですか。

A. 6-12

国際的な政府間機関、都道府県名、行政・司法・立法に関連する名称、インターネットの管理に関連する組織名や日本語ドメイン名の ASCII 互換表現に混乱をおよぼす文字列、普通名詞など、一般の人がドメイン名として登録できない予約ドメイン名が決められています。
[「汎用JPドメイン名における予約ドメイン名」](#)

[このページのトップへ](#)

Q. 6-13

レジストラとは何ですか。

A. 6-13

指定事業者のことです。
[「指定事業者一覧」](#)

[このページのトップへ](#)

Q. 6-14

レジストリとは何ですか。

A. 6-14

ドメイン名情報に関する台帳の管理とその内容をインターネットに対して公開するところです。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-15

DNSとは何ですか。

A. 6-15

通常、私たちは、「www.会社名.JP」「メール名@会社名.JP」の様に文字で表現した「ドメイン名」を利用していますが、インターネット上に接続されたコンピュータは、「61.120.151.80」の様に「IPアドレス」と呼ばれる数字だけで表したアドレスで相手を識別しています。この両者をつなぎ対応付けを行っているのがDNS (Domain Name System) です。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-16

DRPとは何ですか。

A. 6-16

ドメイン名紛争処理方針 (Dispute Resolution Policy) のことです。
[「JPドメイン名紛争処理方針」](#)

[このページのトップへ](#)

Q. 6-17

IETFとは何ですか。

A. 6-17

Internet Engineering Task Force
インターネットの技術的標準を決定する機関です。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-18

IPアドレス (Internet Protocol Address) とは何ですか。

A. 6-18

インターネットに接続されたコンピュータそれぞれに割り当てられた
「61.120.151.80」のような識別番号のことです。
IPアドレスは世界中で唯一のものであることから、管理は 地域インターネット・レジストリ、各国のインターネット・レジストリがおこなっており、日本では
JPNIC がおこなっています。

[このページのトップへ](#)

Q. 6-19

WHOISとは何ですか。

A. 6-19

JPドメイン名登録者のデータベースです。
WHOISで、確認したいJPドメイン名を検索することで、そのJPドメイン名が使用
されているか、また、だれが登録しているかなどの情報を得ることが出来ます。
[JPNIC Whois Gateway](#)

[このページのトップへ](#)

その他の質問はメールにてお問い合わせください。
info@jprs.jp